

第2回 健全育成分科会 議事録

分科会：第1分科会「防災教育」

作成者：廣川（サブリーダー）

開催日：2018/9/24（月）13：00～15：20

会 場：かながわ労働プラザ第4会議室

参加者：瀬谷西、希望ヶ丘（3）、舞岡、多摩、横須賀、横須賀（定）、厚木、
OB、高P連（3） 13名

議 題：1 教育委員会講演と質疑応答

（1）講演（13:00～14:00）

「高等学校における防災教育の現状について

神奈川県教育委員会 教育局指導部

保健体育課 市之瀬副課長

（2）質疑応答（14:00～14:40）

2 今後の活動について（14:40～15:20）

決定事項：

- ① 次回の、11月10日は、12月の県大会での分科会企画について、運営も含めて打ち合わせを行う。また、その後の活動についても打ち合わせを行う。
- ② 講師は、昨年も講演いただいたNPOかながわ311ネットワーク石田真実氏に依頼した。

次回までにやること：

県大会の準備・運営案の作成

次回予定：11月10日（土）10：30～12：00

かながわ県民センター602号室

(質疑応答)

<ul style="list-style-type: none">• ブロック塀などの対策はできているのか。• 学校に保存されている非常食はどのくらいあるのか。学校側で準備しているのか。• 非常時に学校に避難者を受け入れないのは、地域連携と矛盾するのではないか。• 自助が基本であると考えてよいのか。• いろいろなレベルの学校があるが、皆平等に防災教育をやっているのか。• 食料だけでなく、簡易トイレも準備されているのか。• P T Aに防災対策で要望することはないか。• 昨年度行った生徒へのアンケート結果では、防災教育を理解していない生徒も見受けられた。県高 P 連と連携して、防災教育を実効あるものにすることが大切ではないか。• 猛暑の際は、高校野球など部活も途中でやめるなど検討してほしい。• たまたま高校にいたので、そのまま高校に泊まることになったが、高校の先生方は帰宅困難者を受け入れるなど、大変よくやっていたと思う。• 海の近くで、津波の心配から避難した。	<ul style="list-style-type: none">• 鋭意取り組んでいる。(県)• 水と乾パンを、3日分(9食分)保管してある。県が準備している。P T Aが購入したという話は聞かない。(県)• 小中学校は1次避難所だが、高校は違うので食料や毛布などの備蓄がない。ただ、今後は市町村と協力し、受け入れる体制も検討していきたい。(県)• 非常に辛いことだが、生徒にはまず自分が逃げることを教えている。(県)• 全ての学校で行っている。(県)• 各校に準備されている。(県)• 今は特に要望していない。(県)• 今後、高 P 連と連携していきたい。(県)• 地震や風水害、ゲリラ豪雨による土砂崩れなどの天災に加え、今年は猛暑も対策が必要であると考えている。今後、指導資料を見直ししていく中でこういったことも追加していきたい。昨年3件なのに、今年は30~40件の救急搬送があった。(県)• 皆さんのなかで、3.11の災害の際、避難所に行かれた方はいるか。(県)
--	---

(分科会)

- 高校の担当の先生に聞いたが、防災について P T Aに求めることはないといわれた。しかしながら、簡易トイレや生理用品など揃え備蓄も増えるようになり、学校の防災意識も高まっていると感じている。私たちだけでなく、学校と協力してできることがあればと思う。
- 今日の質疑で、防災教育に関して、県教育委員会と高 P 連との協力体制がまだ構築されていないことがわかった。今後は情報を速やかに共有する等して、効率的に連携していきたい。
- 県大会の講師について、携帯事業者には防災担当の部署はないようなので、昨年も講演していただいた、N P O かながわ 311 ネットワークの石田真実さんに同じ趣旨でお願いした。
- 次回、11月10日には、県大会の分科会の講演の運営手伝いのことを打ち合わせする。また、その後の活動、今年度のまとめの方向性を検討する。